

出生前診断を考える

【WEB配信】勤務医部会企画講演会

第1回

医療技術の発展により、私たちは生まれる前の赤ちゃんや体外受精で得られた受精卵について様々なことを知ることができるようになりました。

これらの技術の中で、特に妊婦の血液で胎児の染色体異常を推定するNIPT（新型出生前診断）については、優生思想や商業主義の問題が現実となっています。不妊治療を受けている方や妊婦さんに限らず私たち総てのこととして考えるための研修会です。第1回として診断技術の現状についてお話いただきます。（理事 片渕 美和子）



胎児染色体異数の出生前診断 -NIPTがもたらしたもの-

講師 熊本大学大学院生命科学研究部
産科婦人科学講座 准教授 大場 隆 氏

染色体数の異常（異数）に対する出生前の非侵襲的検査は羊水穿刺などの確定的・侵襲的な検査を受けるかどうかを判断する指標となる。2013年に導入された無侵襲的出生前遺伝学的検査（NIPT）は高い陰性的中率が得られる一方でその安易さが懸念された。NIPTの導入が出生前診断にもたらした変化について概説する。

小児科から考える出生前診断

講師 熊本大学病院
新生児学寄附講座 特任教授 三淵 浩 氏

2021年、NIPT等における出生前検査に関する専門委員会の報告書が出され、全ての妊婦へ適切な情報提供が行われることに大きく変わる。そこには行政も関わることになるだろうが、小児科医はどうかかわっていくのかが問われている。小児科医は何ができるか、望ましいあり方があるのか、自験例も通して問いかけたい。

日時 2022年10月26日（水）
19:00～21:00

対象 医師、医療スタッフ（助産師、看護師、薬剤師、理学療法士等）、学校関係者等

（事前申込制・参加無料）



<http://bit.ly/3QJOtMp>

申込は10/24（月）17時まで

本講演会は、Zoomウェビナーを使用してライブ配信で行います。
上のQRコードをスマホ等で読み取って必要事項を入力の上お申込みください。QRコードからのお申込みができない場合は、お電話でも受付いたします。



LINE公式アカウント
友だち募集中！

主催：一般社団法人熊本県保険医協会

TEL：096-385-3330

Email：kumamoto-hok@doc-net.or.jp